

理系文系は関係ない。
研究も結婚も子育ても、やりたいことを
自然体でやればいい。



番場 教子 *Noriko Bamba*

学術研究院准教授(工学系)
(工学部 電気電子工学科(H28.4 から電子情報システム工学科)准教授)

新潟県出身。長岡技術科学大学工学部卒業。同大学院工学研究科修了。大阪大学大学院工学研究科修了、博士(工学)取得。1998年に信州大学工学部助手として着任、2007年より現職。



学生へのメッセージ

実験は、どうしても家ではできないので、ある時期は夜昼も関係ないし、男女も関係ないということがあります。私も大阪大学時代には、装置の都合上、徹夜で実験することもありました。でも、それが苦痛かという、全然そうじゃないんです。むしろ楽しくて仕方がない。おもしろいです。それに、プログラムや複雑な計算になると、コンピュータが必要かもしれませんが、考えるのは紙と鉛筆があればできます。昔とちょっと変わらない。

あまりリケジョを特別視するのではなく、やりたいことや「おもしろいな」と思えることがあったらやってみる事です。理系、文系に関係なく、目の前の興味のあることを一生懸命にやってみれば、自ずと道は開かれていくと思います。



超高齢出産ながら母子共に元気なのがありがたい。



着任したときが長野冬季オリンピックで、そり競技スケルトンに出会う。腹ばいになって氷の上を滑り降りるのは楽しい。



実験は お菓子づくりに似ている

私の研究は、簡単にいうと力で電気を発生する材料の研究です。なかでもセラミックス、つまり焼き物なんですけど、いろいろな粉を混ぜたり、作り方を工夫したりして特性の良い材料をつくっているんです。ちょっとお菓子を作るみたいなお感じですね。そんなにお菓子作りをするわけにはありませんが(笑)。作りたい組成になるように原料(粉末)を正確に量って、混ぜて(反応させて)、プレスして固めて焼いて、その特性がどうなっているのかを調べます。

セラミックスは、身近なところではライター等の着火素子とか、めがね屋さんでめがねをきれいにするのに使われている超音波洗浄機などにも使用されている部品の材料です。その他には、携帯電話やパソコンの中にもたくさん入っているキャパシタやフィルタにも、このような特性の材料が使われています。

まさか私が 工学部の先生?

私は新潟県出身で、大学は長岡技術科学大学工学部を卒業しました。最初は機械系で、修士で材料の研究を始め、その後、いろいろなご縁により大阪大学に進み、材料、セラミックスの研究でドクター(工学博士)を取りました。研究畑まっし

ぐらに見えますが、高校時代、特別に数学や物理が得意だったわけではないんです。幅広く可能性を開いておこう、ぐらいの気持ちで理系に進んだんです。

でも、実験はおもしろい。なんでこういう結果になったのか、と考えてると頭がパンクしそうになることもあります。結果が出るとうれしい。この分野はお菓子作りが好きな女子でも関われる分野だと思います。

超高齢出産! 自然体でやっていく

結婚は信州大学に赴任してからです。夫とは趣味で始めたそり競技のスケルトンで出会いました。知り合ったときの夫は、工学部の学生でした。歳もかなり下でしたし、結婚したのは我ながらびっくりです。結婚したのが35歳で、それから約9年たって妊娠、44歳で超高齢出産。臨月近くまで勤務して、出産後2ヵ月弱、育児休業なしで職場復帰しました。研究室は私一人でやっているの、学生を放置しておくわけにはいかなかったということもありますが、長く休んでいたら、すっかり怠けものになって復帰が難しかったかもしれません(笑)。

復帰した頃はまだ保育園に預けられなかったもので、8時半から16時半までの一時預かりを利用しました。教員は裁量労働ということもあり、一時預かりのお迎えに間に合うように、仕事もそこそこ帰る

Time Schedule



06:00	起床
06:30	朝食
-	-
08:30	大学へ (時々娘を保育園へ)
12:00	昼食
-	-
18:00	子どもの迎え
19:00	帰宅
19:30	夕食
-	-
21:30	娘就寝
23:00	就寝

日もありました。なんとか夫婦2人で協力していますが、どうしてもダメなときは、市内に暮らす夫の両親に朝から夜まで預かってもらいました。育休なしで復帰しましたが、超高齢出産の割には私も娘も元気で、環境も含めいろいろな点で恵まれていたこともあり、なんとかありました。

7ヵ月から保育園に通っていた娘も2歳半を過ぎ、朝から夕方まで保育園でいろんなことを体験させてもらっています。結婚して生活は何も変わらないけど、子どもがいると研究は二の次になってしまうところもあります。でも、何事も体験したことは必ずどこかで役に立つでしょう。研究でも子育て経験はきっと生きるはず。これからも私らしく自然体で、子育ても仕事も続けていきたいと思っています。

Focus!



原料の粉を成形して、焼いてつくるセラミックスのタブレット。成分を変え、割合を変え、混ぜて焼き、特性を調べる。ひたすら実験の繰り返し。ちょっとお菓子作りにも似ているところがあるかもしれないが、根気のいる仕事です。